

酢豚に「パイナップル」



☆☆調理道具受注は・・・嗚呼！

この記事は、東京事務所 所長『戸川 晴二』が担当しました。

「酢豚にパイナップル」を毎号ご愛読有難うございます。

皆様、お元気ですか。春はもうすぐです。これからも皆様、お元気でお過ごし下さい。

皆様をご利用になりますホテルにはお料理別のレストランや、あるいは語らいで過ごされますカフェテラス等があります。そして人生の門出の結婚披露宴。大勢の方々が集うブッフスタイルでのご宴会。

又数々のディナーショーでは楽しい一時を過ごされる事でしょう。

皆様に温かいお料理は温かく、冷して頂くお料理は涼やかに、辛いお料理は辛く美味しく食べて頂けるのは、調理の方が食材の特長と美味しさを損なわない卓越した調理技術で、最適な調理道具を使用して調理を行なう結果なのです。

この美味しいお料理を調理する調理道具を決定する迄は、どの様な事がお有りかと思いませんか。

それではホテルの開業準備を、調理道具確認という事で経験した時のお話しさせて頂きます。

ホテルが新規で開業の場合、レセプション迄には全品の購入業務終了を計画しますので、開業準備室を開設し業務推進を図ります。

開業準備室の購入物件には、調理道具、ホール備品、宴会用器材等、他には料飲関係の飲料と食材や、調度品の家具等の購入も行います。

調理担当者として調理道具確認が出来る様になるのは、おおよそ開業半年ぐらい前です。

調理道具の確認が開始されますと、連日商品説明と根気を駆使しますのでタフな体力は、確認作業の重要条件です。

各レストランの調理道具確認種類は大抵300点前後です。300点前後の確認を一つ一つ行っていくのです。

調理道具には同じ名称で寸法の異なる種類が数多くあります。

確認を調理担当者で行う場所は事務所です。

従って結構確認には時間を費やします。午前9時に確認を開始して、終了が19時頃になっていたと言う事は結構あります。終了が19時頃になりますと調理担当者共々も、もうこれ以上の確認がとても無理な状態になります。

というのはカタログページ検索が、鉛の様に重いページをめくる感覚になってしまう疲労の極致です。

しかし「明日も午前開始で確認は有るよ」と準備室担当者から言われますと、何故か張り切る気持ちになってしまうものです。

一番確認時間を費やしてしまうのは、なんと言っても宴会調理です。

使用調理道具の種類、数量は半端では有りません。

調理道具確認担当者は総料理長です。総料理長は調理、開業経験も豊富な方ばかりです。

調理道具で規格外注文が多いのも宴会調理の特長です。

総料理長との調理道具確認や、規格外製作確認のポイントは、厨房現場のあの調理道具はといった雑多的な情報を多く持って、参考になる説明が出来る事です。

調理道具確認は各調理部門担当者と少なくとも2～3回は行います。

時間を掛けて確認を行っても1回で終了という事はあり得ません。

大体ですが、確認はこの様な内容で終了します。

私共(株)カンダは、お客様のニーズに合いました業務用調理機器、調理道具商品、情報を、一早く御案内致します事を常に心掛けております。

今後とも宜しく御願致します。

社員紹介



はじめまして、業務部の宗村秀樹と申します。

年のせいかよくわかりませんが、只今日帰り温泉にはまっております。

新潟県内では飽き、長野、山形、福島県他へ足を運んでいます。

去年行った長野県小諸市内のあぐりの湯、この露天風呂からの眺望は最高です。浅間連峰、浅間山の噴煙、眼下には小諸市街地が見渡せます。

露天風呂の大きいのは長野県内最大級とのことで、上田市内地蔵温泉にも行っております。ここもお勧めです。

腰痛、ストレス解消、ビールのうまみを感じ取るならやはり温泉でしょうか？



今月も宜しく御願致します。



〒959-1272
 新潟県燕市杉柳912
 TEL:0256-63-4541 (代表)
 FAX:0256-64-2960
 e-mail:kanda@kankuma.co.jp
 http://www.kankuma.co.jp/



新潟県に仮面ライダー現る！！

この記事は、事務の「関本 ひとみ」が担当しました。

あれはちょっと涼しくなってきた去年の夏の終わりの出来事でした・・・。

地元出雲崎町の天領の里という所でその日はイベントが開かれておりました。

突然司会者の1人が目を丸くし、
「あっ あれは一体なんだ!？」
と叫んだのです!!!!!!

ふと指差す方向に目を向けるとそこには・・・
バイクに乗った、**かつ仮面ライダー**が国道から走ってきたのです(゜д゜;)”
思わず駆けよったら、仮面ライダーが止まってくれました。
周りにいた子供達も集まりだし、仮面ライダーはあつという間に大勢の人達で囲まれてしまいました。

新潟県には仮面ライダーの格好をして国道を走っている人がいるという噂を聞いたことがあり、私は一度は会ってみたいと思っていたところ会っちゃいました(≧▽≦)v
本当に全身手づくりの仮面ライダーで手が込んでいて、
マジすげ～たんまげた～って感じでした。
(たんまげた～とは新潟の方言でびっくりしたという意味です。)

その仮面ライダーに私と友達はいろいろ質問をしてみました、身振り手振りの返事くらいで、一言も言葉を発せず、またバイクに乗ってカッコよく走りさっていきました。

ちなみにその時に撮った写真がこちらです。→→→

一体誰なんでしょうか・・・。
どんな悪者と戦っているのでしょうか・・・。

何のために仮面ライダーの格好をしているのでしょうか・・・。

ただ一つわかったことは、仮面の目からうすうす見えたメガネをかけたおじさん!? だったということです・・・。
それと最近耳にした噂・・・

新潟県の仮面ライダーは実は1人ではないという・・・。
3人の仮面ライダーが存在するそうです・・・。

私の中でその仮面ライダーの**謎が深まるばかり**・・・
誰かわかる人がいたら情報をお待ちしております!!



プライベートでも気をつけたい

この記事は、編集の「奥村 耕一」が担当しました。

先日、社会人向けのマナー講座に行ってきました。商談の際の姿勢や態度、言葉遣いについて様々な指導を受ける中で多くの気づきを得ることができました。

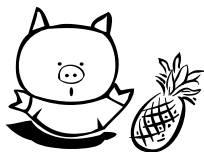
先生と1対1で向かい合って言葉遣いのレッスンを受けている最中のこと。講師の先生の視線がずっと私の顔のある部分を注視するのです。そのせいで非常にストレスがたまり、先生相手に話すことができませんでした。では、先生が注視していた「その部分」とは一体どこだったかわかりますか？

そうです、答えは「口」なんです。もう、とにかく話しくい。恥ずかしいというか、鬱陶しいというか・・・。言葉遣いのレッスンなのに、この先生どういう神経しているんだろうって、腹が立ちました。

さらに衝撃だったのは、そのあとです。レッスン後の先生の一言、「奥村さんが私と会話している時の視線と同じ視線で会話してみました」。もう恰好悪いの何のって、その場から逃げだしたい気持ちでした。

先生曰く、「他人の話を真剣に聞こうとするあまり、相手の口元に視線が集中してしまうことはよくあること」とのこと。これは仕事においてのみならず、プライベートの場面でも気をつけなくてはなりません。

対話によるコミュニケーションにおいては、相手にわかりやすく伝えることだけでなく、相手が気持ち良く話せる環境を作ることも大切だと痛感した休日でした。



株式会社 **カンダ**
KANKUMA 会社
酢豚に「パイ」

カンダにご縁のあった方にお届けします!

〒959-1272
新潟県燕市杉柳912
(流通センター入口)
TEL:0256-63-4541 (代表)
FAX:0256-64-2960
e-mail:kanda@kankuma.co.jp
http://www.kankuma.co.jp/

ホームページもご覧ください
<http://www.kankuma.co.jp/>